

- 問1 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流水と、その地域への影響について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往來をすべて止めている。 | 2. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。 | 3. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。 | 4. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。 |
|--|--|---|--|
- 問2 ある都道府県の統計データによると、「年間訪問者数が約2,133万人」「世界遺産登録数が1件」「空港の数が14か所」「新幹線の駅の数が2か所」となっています。この統計が示す都道府県名と、その交通網の特徴を説明した文の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 神奈川県：訪問客数は非常に多いが、羽田空港に近い県内に空港はなく、新幹線の駅は5か所設置されている | 2. 北海道：広大な面積を有するため道内の航空網が発達しており、青函トンネルを通じて新幹線も乗り入れている | 3. 奈良県：世界遺産の登録数は多いものの、内陸に位置し面積も狭いため、県内に空港は設置されていない | 4. 沖縄県：多くの離島を抱えるため空港の数は多いが、現在のところ新幹線は開通していない |
|--|---|--|--|
- 問3 北海道の東部に位置する根釧台地などの寒冷な地域において、乳牛を飼育して生乳や乳製品を生産する農業を何といいますか。牧草などの飼料生産と組み合わせられていることが特徴です。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 酪農 | 2. 促成栽培 | 3. 果樹農業 | 4. 放牧 |
|-------|---------|---------|-------|
- 問4 北海道の北東側に面し、千島列島へと連なる海域において、冬季にシベリア沿岸から流水が押し寄せることが大きな特徴となっている海域の名前を選びなさい。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|---------|--------|
| 1. オホーツク海 | 2. 日本海 | 3. 東シナ海 | 4. 太平洋 |
|-----------|--------|---------|--------|
- 問5 北海道の経済や文化の変遷について、かつての商業都市である小樽と、自然保護が進む釧路湿原の背景を説明した文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。 | 2. 釧路湿原は、農地開発や工業用地としての利用を目的として大規模な埋め立てが行われた結果、世界文化遺産に登録された。 | 3. 小樽は、江戸時代に東廻り航路の終着点として栄えたため、現在も大規模な製鉄所が稼働する重化学工業都市となっている。 | 4. 釧路湿原は、寒冷な気候を活かした稲作の適地として開発が進んだが、現在は冷害に強い品種改良の実験場となっている。 |
|--|---|---|--|
- 問6 冬の北海道において、シベリア沿岸で凍結した海水が潮の流れに乗ってオホーツク海沿岸へと押し寄せる現象を何といいますか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 濃霧 | 2. 季節風 | 3. 潮汐 | 4. 流水 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問7 ある都市の統計データにおいて、年平均気温が7.9度、年降水量が1239.2mmであり、夏（7・8月）の気温が約20度と低く、冬の降水量が非常に少ないという特徴が見られました。この都市が位置する地域とその気候の背景について述べた文として正しいものを選びなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 中央高地に位置しており、標高が高いために年平均気温は低いが、日照時間が長いため夏の日中の気温は非常に高くなる。 | 2. 瀬戸内海沿岸に位置しており、周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく、夏は非常に高温になる。 | 3. 北陸地方の日本海側に位置しており、冬は対馬海流の影響を受けた湿った風が山地にぶつかるため、世界的な豪雪地帯となる。 | 4. 北海道の太平洋側に位置しており、夏は海からの湿った冷たい風などの影響で気温が上がりにくく、冷涼な気候となる。 |
|--|---|--|---|
- 問8 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。 | 2. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。 | 3. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な水路が建設された。 | 4. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。 |
|--|---|--|---|
- 問9 北海道東部に位置する根釧台地では、広大な土地を利用した大規模な酪農が盛んに行われています。この地域で畑作よりも酪農が適している理由として、気候や土地の条件を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 一年を通じて降水量が非常に少なく乾燥した気候であり、水不足に強い牛の飼育が適しているから。 | 2. 土地が火山灰で覆われており非常に肥沃であるため、肥料を使わずに効率よく飼料を生産できるから。 | 3. 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。 | 4. 冬の積雪量が非常に多く、春になっても雪が解けないため、耕作期間が極端に短いから。 |
|--|---|---|---|
- 問10 世界自然遺産である知床半島において、エコツーリズムを推進するために設置されている「高架木道」について、地面から高く浮かせて設置されている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため | 2. 地熱による木材の腐敗を防止し、メンテナンスにかかる費用を最小限に抑えるため | 3. 冬の間に降り積もる深い雪に道が埋もれないようにし、一年を通じて観光を可能にするため | 4. 森林火災が発生した際に、木道が防火帯として機能し、延焼を食い止めるやすくなるため |
|--|--|--|---|
- 問11 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|--|
| 1. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。 | 2. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。 | 3. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。 | 4. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。 |
|---|--|-------------------------------------|--|
- 問12 北海道の知床半島は世界自然遺産に登録されており、地域の自然環境を保護しながら、その価値を観光客に伝える「エコツーリズム」が推進されています。この取り組みの具体的な事例として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 旭川市の動物園で見られるような、動物本来の動きを間近で観察できる行動展示の導入 | 2. 野生動物との接触や植生へのダメージを抑えつつ散策を楽しめる、高架木道の整備 | 3. 札幌市で冬の観光振興を目的に行われる、大規模な雪像を展示するさっぽろ雪まつり | 4. ニセコなどのスキー場において、急増する外国人観光客に対応するための多言語表記の充実 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。	流氷はシベリア沿岸で発生し、海流に乗ってオホーツク海を南下して北海道の北東岸に到達します。かつては漁船の出港を妨げるなどの負の側面が強調されましたが、現在では砕氷船（ガリンコ号やオーロラ号）による観光や、流氷とともにやってくるクリオネなどの観察といった観光資源としての側面が重視されています。他の選択肢にある冷害の原因は主に夏の「やませ」などであり、流氷の性質とは異なります。
問2	答え 2 北海道：広大な面積を有するため道内の航空網が発達しており、青函トンネルを通じて新幹線も乗り入れている	統計にある「空港数14」は全国で最多の数値であり、広大な面積を持つ北海道特有の指標です。沖縄県も離島のために空港数は多いですが、新幹線は走っていません。奈良県には空港がなく、神奈川県は新幹線の駅数が多いものの県内に空港はありません。北海道は広大な土地を結び航空網に加え、北海道新幹線の駅が函館近郊などに設置されていることが大きな特徴です。
問3	答え 1 酪農	乳牛を飼育して牛乳やバター、チーズなどの原料となる生乳を生産する農業を酪農と呼びます。北海道の根釧台地は、夏に気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であるため、稲作などには向きませんが、牧草の生育に適していることから、自給的な飼料生産を伴う大規模な酪農が発達しました。
問4	答え 1 オホーツク海	北海道の北側に位置するこの海域は、冬になるとアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなった海水が凍り、それが季節風に乗って南下してくる「流氷」が見られることで有名です。日本の周辺海域でこのような大規模な流氷が観測されるのは、この海域特有の現象です。
問5	答え 1 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。	小樽は明治から大正にかけて、北海道開拓の玄関口やニシン漁、石炭の積み出し港として急速に発展し、「北のウォール街」と呼ばれるほどの商業都市となりました。現在は当時の石造り倉庫や運河が保存され、重要な観光資産となっています。釧路湿原は開発から免れた貴重な自然として「世界文化遺産」ではなく「国立公園」や「ラムサール条約」による保護の対象となっています。また、釧路付近の気候は稲作には適さず、主に酪農が行われています。
問6	答え 4 流氷	北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸では、冬になるとシベリアの沿岸で凍った海水が南下し、網走や紋別などの海岸に漂着します。これを流氷と呼び、北海道の冬を象徴する自然環境の特色の一つとなっています。選択肢にある「濃霧」は、夏に冷涼な湿った風（やませ）の影響を受ける太平洋側の沿岸部で多く見られる特色であり、混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 4 北海道の太平洋側に位置しており、夏は海からの湿った冷たい風などの影響で気温が上がりにくく、冷涼な気候となる。	問題文にある「年平均気温が約8度」「夏が20度前後と冷涼」「冬の降水量が少ない」というデータは、北海道の太平洋側に位置する苫小牧市などの典型的な特徴です。太平洋側では、夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る冷たい湿った空気の影響で、気温がそれほど上がらず冷涼な夏となります。一方で冬は、日本海側で雪を降らせた後の乾燥した空気が流れ込むため、降水量が抑えられます。これに対し、日本海側の金沢などでは冬の降水量が非常に多くなるため、対照的なグラフとなります。
問8	答え 2 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。	石狩平野などに広がっていた泥炭地は、非常に排水が悪く、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、大規模な排水路を建設して湿地の水を除き、さらに他の場所から良質な土を運び入れる「客土（かくど）」を行うことで、肥沃な農地に生まれ変わらせました。選択肢にある「火山灰の台地」はシラス台地、「海水を抜く」は干拓に関する説明です。
問9	答え 3 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。	根釧台地は千島海流（親潮）の影響を受けた湿った空気が流れ込み、夏に濃霧が発生しやすく、気温が上がらない「冷涼」な気候が特徴です。このような気候条件や火山灰地という性質は、一般的な畑作には向きませんが、牛の餌となる牧草の栽培には適しているため、大規模な酪農が発展しました。
問10	答え 1 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため	知床のような貴重な生態系が残る場所では、観光利用が自然破壊につながる「観光公害」を防ぐ必要があります。木道を地面から浮かせることで、貴重な植物の踏みつけを物理的に回避できるほか、電気柵を併設することでヒグマが木道内に侵入するのを防ぎ、野生動物との適切な距離を保ちながら安全に自然観察を行うことが可能になっています。これは、環境保護と観光資源の活用という、制度の目的を具現化した仕組みです。
問11	答え 3 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆類、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わせられているのが大きな特徴です。
問12	答え 2 野生動物との接触や植生へのダメージを抑えつつ散策を楽しめる、高架木道の整備	エコツーリズムは、地域の自然環境や文化の保全と、それらを観光客が体験する活動を両立させる仕組みを指します。知床では、観光客が地面を直接歩くことで高山植物などの植生を傷つけるのを防ぎ、さらにヒグマなどの野生動物との遭遇による事故を避けるために、地面から浮かせて設置された「高架木道」が活用されています。旭川の行動展示は施設の工夫、雪まつりはイベントによる振興、外国語表記はインバウンド対応であり、いずれもエコツーリズムの定義とは異なります。